

第24回

ふじさわサイクルプラン 推進連絡協議会

2024年（令和6年）3月4日（月）

議題（2）自転車施策の取組について（報告）

- ・シェアサイクルの実証実験の実施状況について
- ・鉄道駅周辺の自転車通行空間整備の効果検証について



藤 沢 市

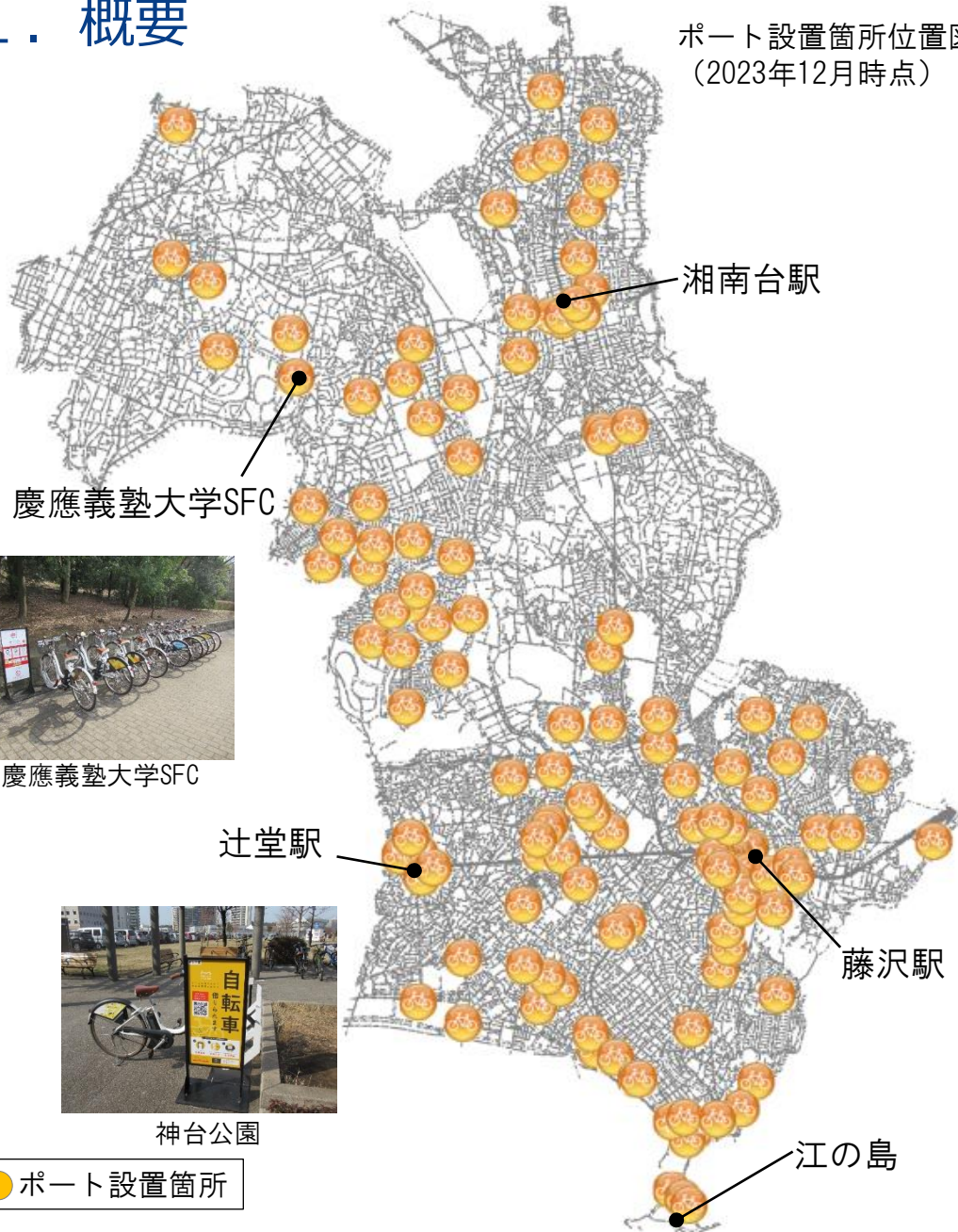
シェアサイクルの実証実験の 実施状況について

1. 概要

事業名	湘南地域シェアサイクル広域周遊観光実証実験事業
事業主体	湘南地域自転車観光推進協議会 (神奈川県、平塚市、鎌倉市、茅ヶ崎市、寒川町、大磯町、二宮町、藤沢市及び県・当該市町の各観光協会(鎌倉市を除く。))
協働事業者	OpenStreet株式会社・江ノ島電鉄株式会社
目的	<ul style="list-style-type: none"> ● シェアサイクルによる周遊観光促進 ● 二次交通ネットワークの構築
期間	2019年8月30日 ~ 2025年3月31日 (毎年1年間自動更新)
ポスト数	131箇所 (藤沢市内・2023年12月時点)
利用料金	利用開始30分 130円 (延長 100円/15分) 12時間まで 1,800円

1. 概要

ポート設置箇所位置図
(2023年12月時点)



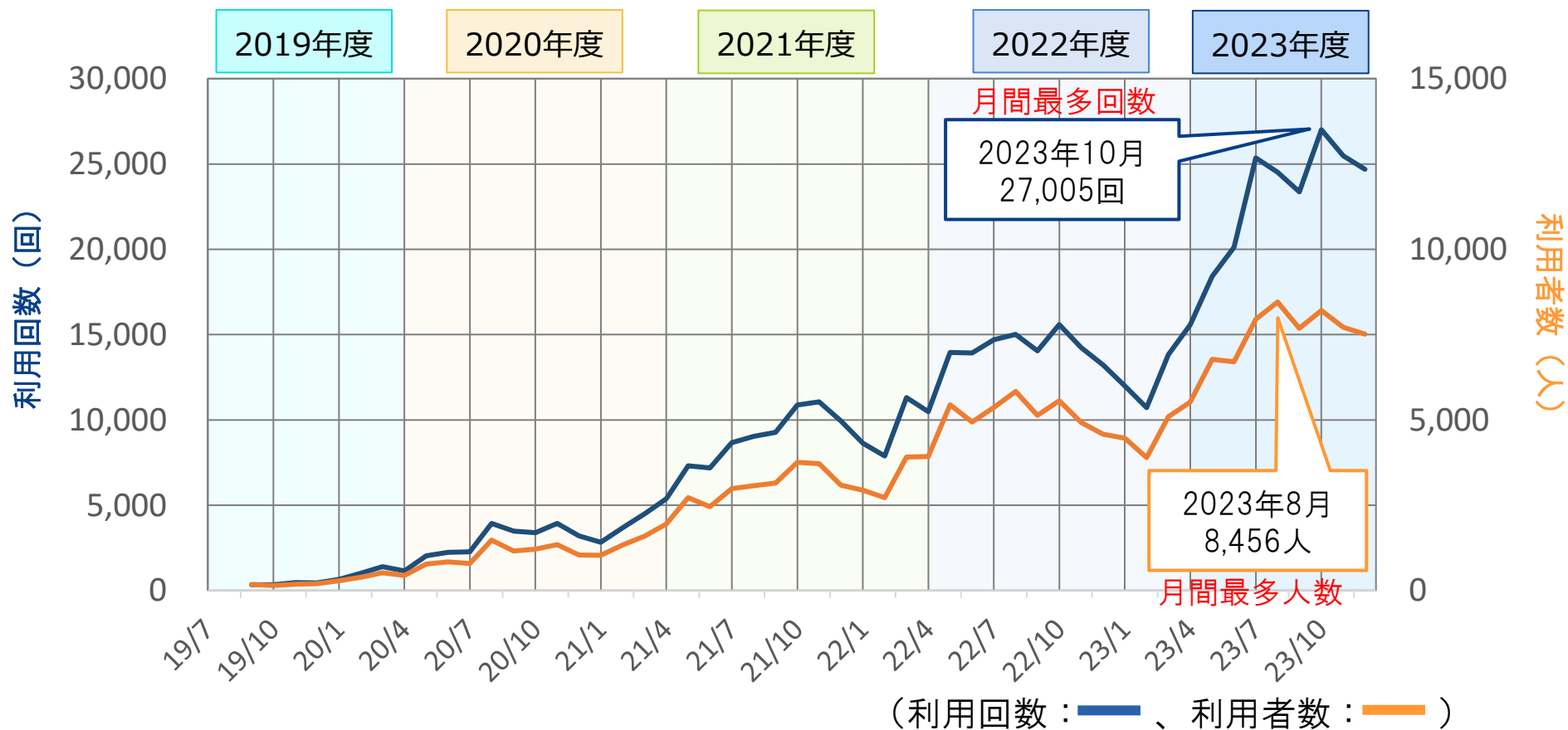
設置箇所	ポート数
公共施設	37
民間施設	94
合計	131

公共施設内訳		ポート数
藤沢市	公園	18
	庁舎など	5
	道路	2
	スポーツ施設	2
	駐輪場	1
	市民センター	5
神奈川県		4

2. 利用状況

利用回数と利用者数

利用回数 (回) …貸出または返却が藤沢市内の場合の利用した回数
 利用者数 (人) …シェアサイクルを1回以上利用した利用者の数
 (延べ人数ではない)

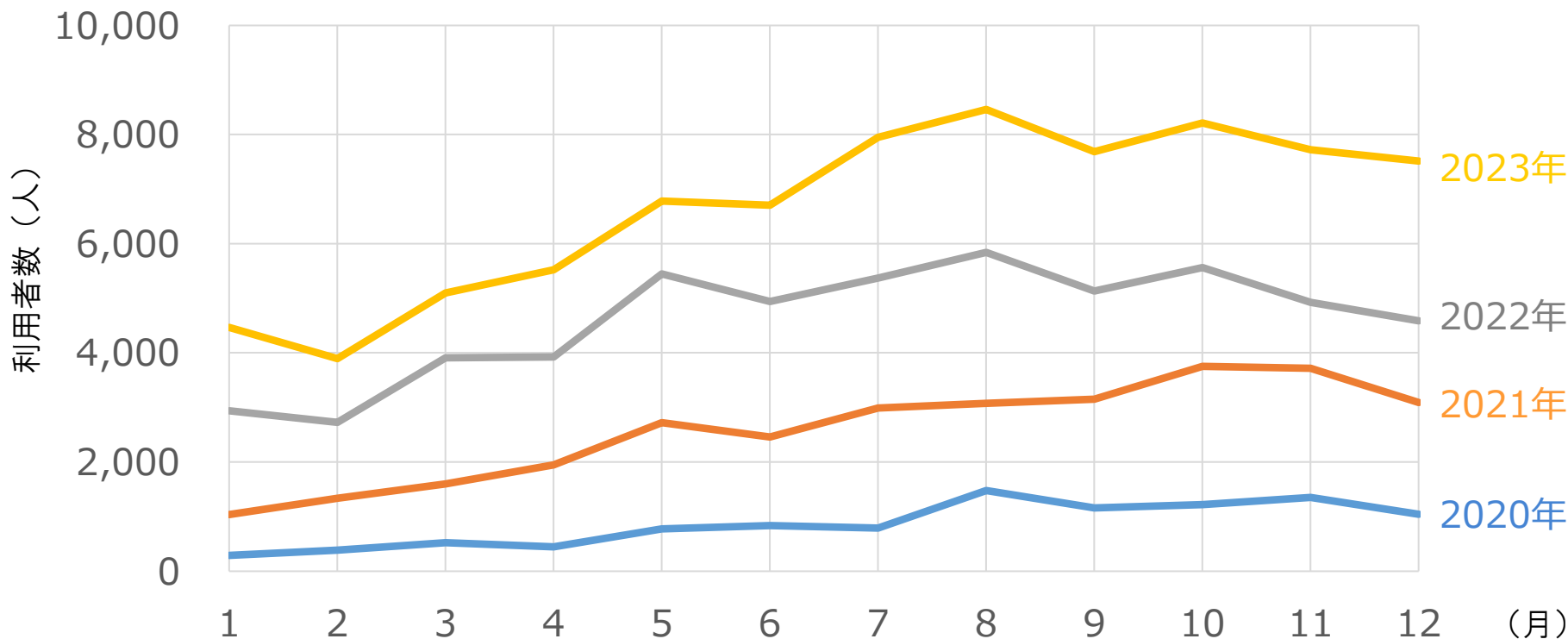


2023年度は、前年同月比1.2~1.8倍の利用回数

2. 利用状況

月別利用者数推移

利用者数（人）…シェアサイクルを1回以上利用した利用者の数
（延べ人数ではない）



4～8月にかけて利用が増える

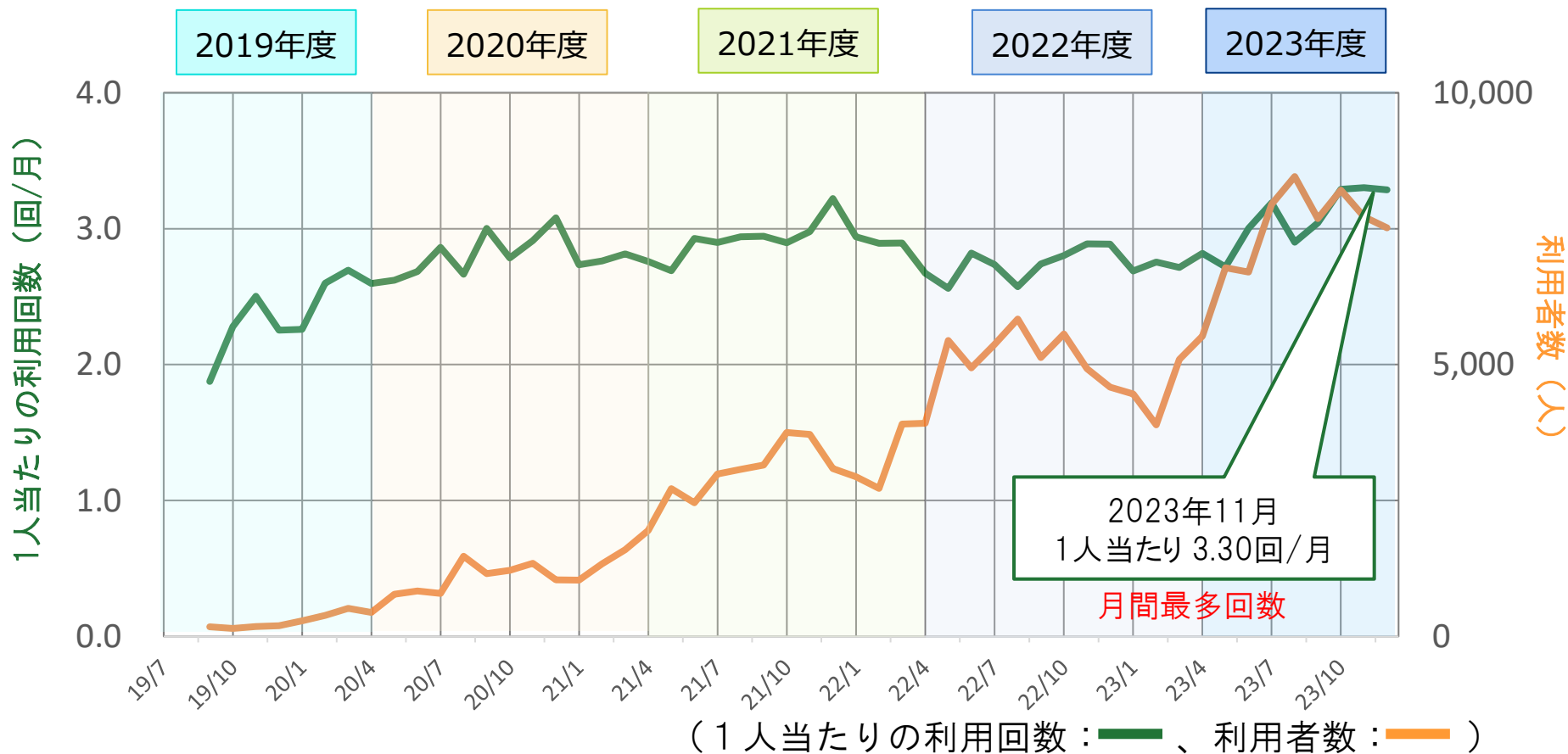
10～2月にかけて利用が減る

季節による利用者の推移は、概ね同様の傾向を示している

2. 利用状況

1人当たりの利用回数

1人が1か月間に利用した平均回数（利用回数／利用人数）

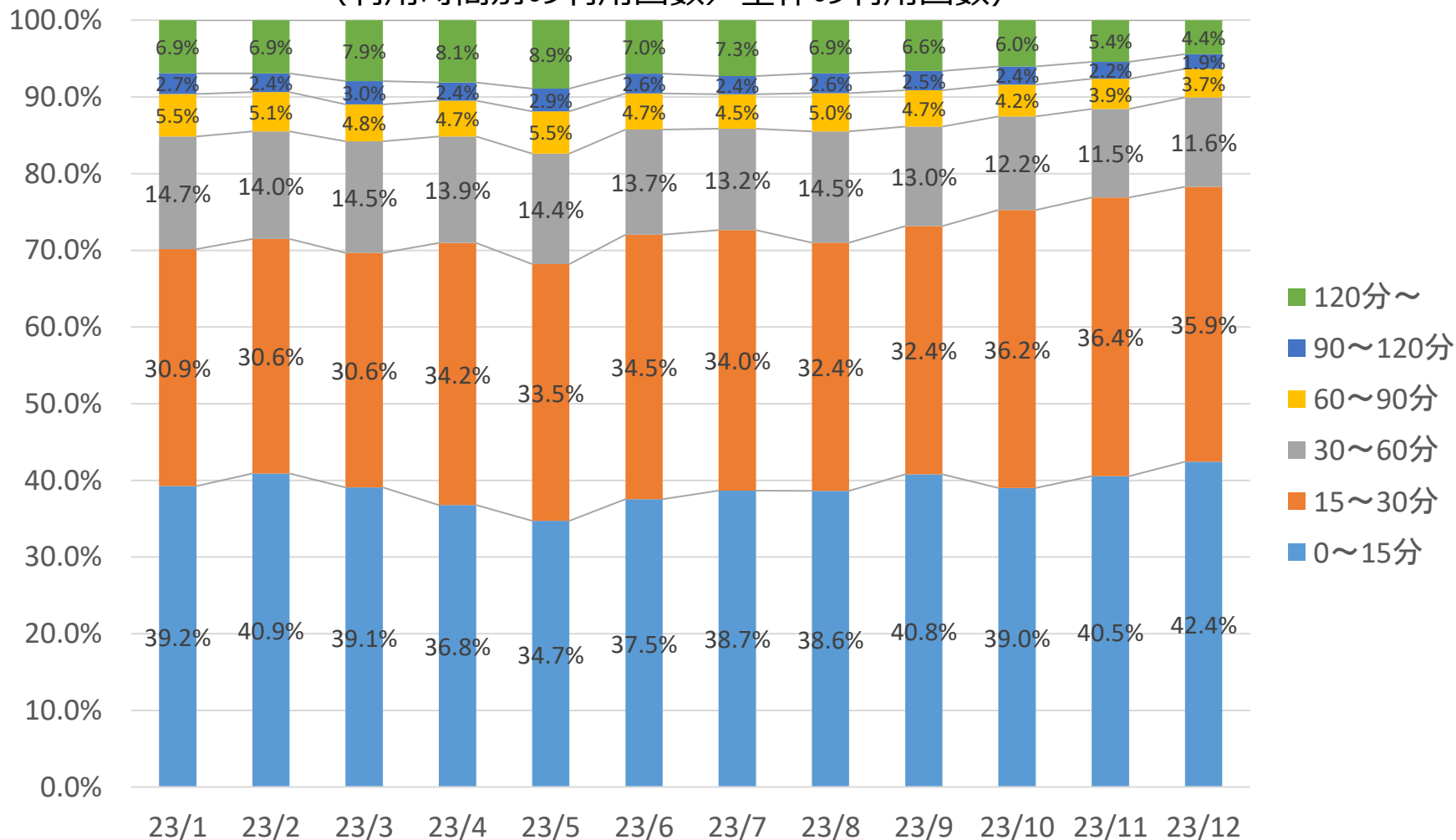


1人当たりの利用回数は約3回でありあまり変わらないが、利用者が増えたことにより、総利用回数も増加している。

2. 利用状況

利用時間

利用時間別の全体の利用回数に対する割合
(利用時間別の利用回数 / 全体の利用回数)



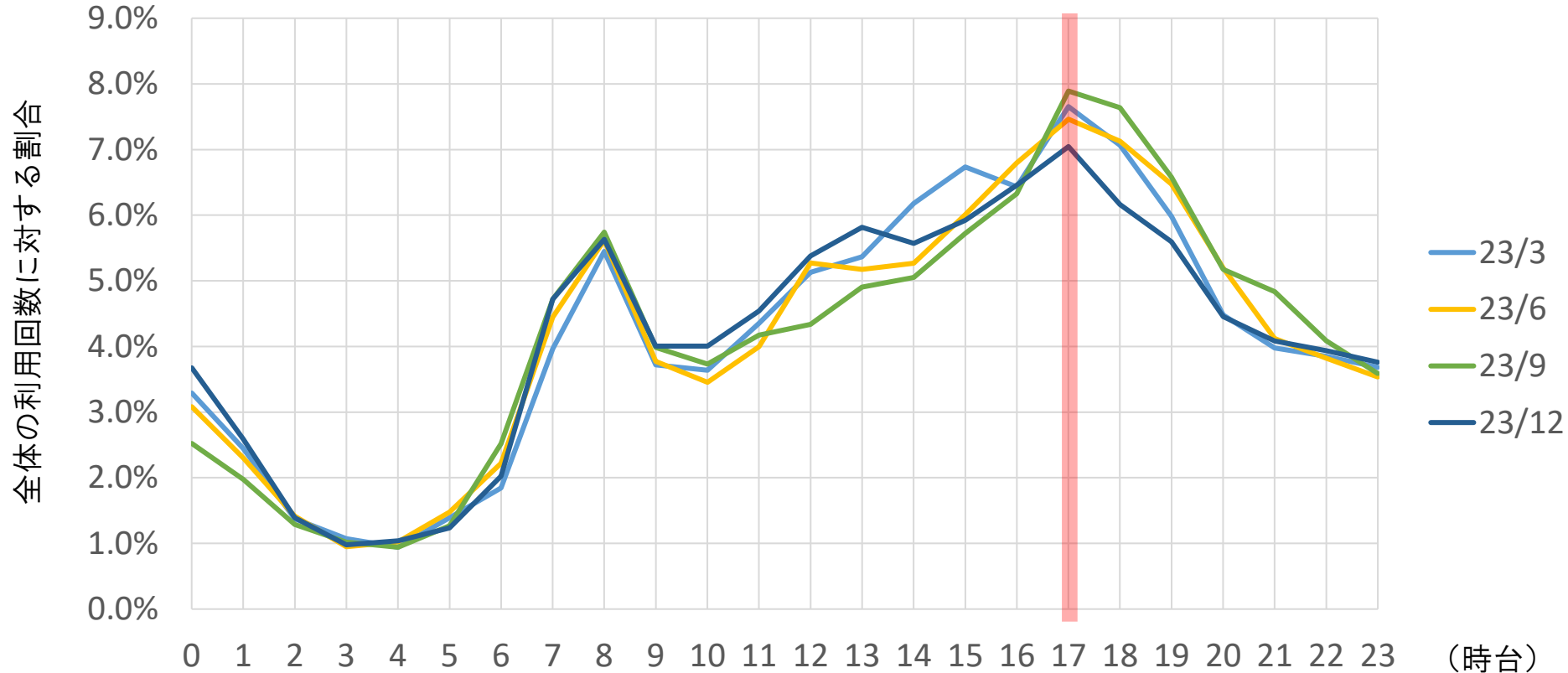
15分以下の利用が全体の約4割
30分以下の利用が全体の約7割を占める

(距離にすると5~7km程度)

2. 利用状況

利用時間帯

時間帯別の利用回数の全体の利用回数に対する割合
 (時間帯別の利用回数 / 全体の利用回数)

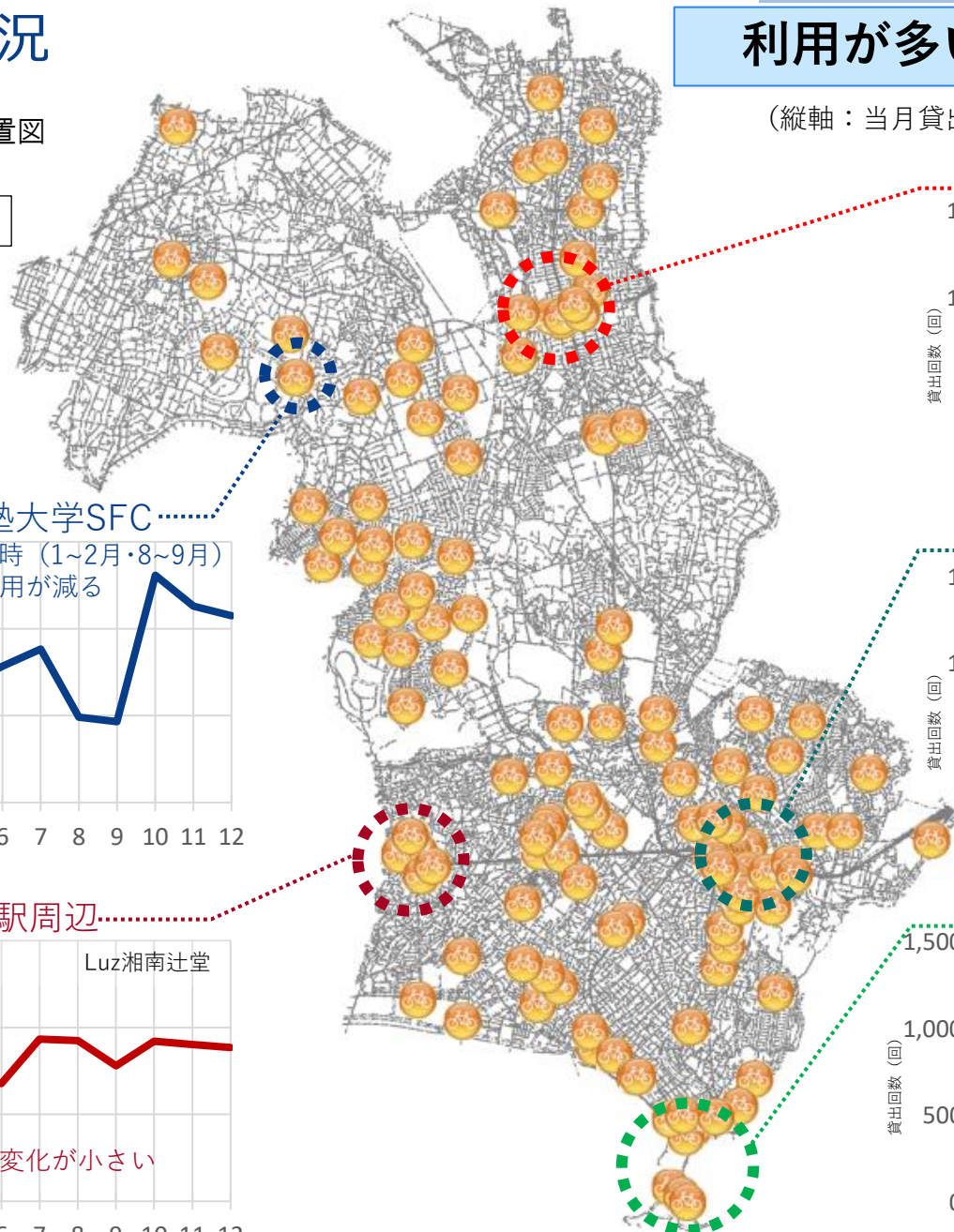


季節に関係なく、夕方（17時台）にかけての利用が多いため、
 帰宅時（用務が終わった後）の利用が多いと考えられる。

2. 利用状況

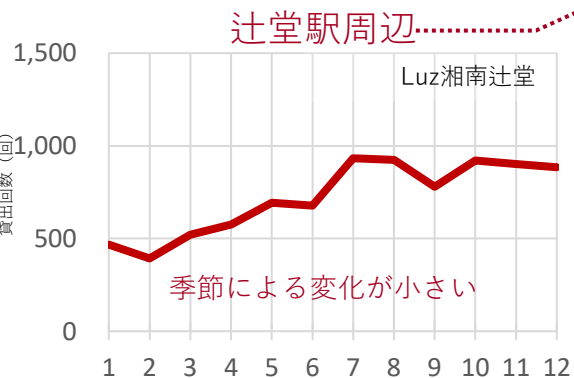
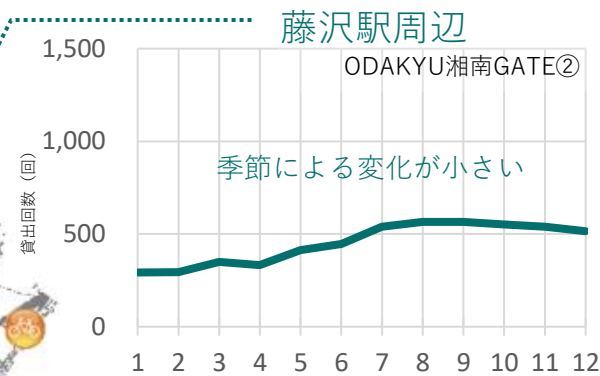
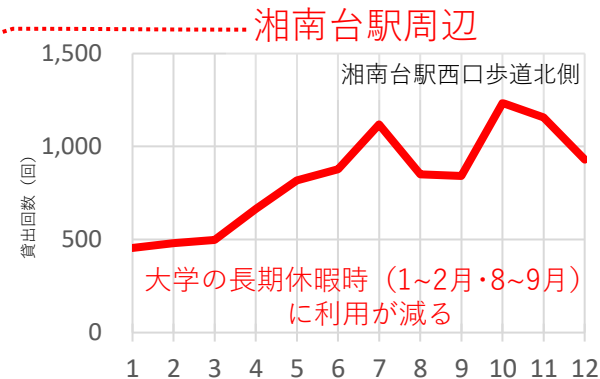
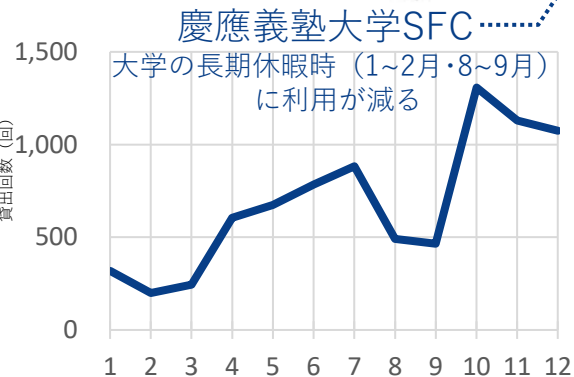
ポート設置箇所位置図
(2023年12月時点)

● ポート設置箇所



利用が多いエリアの利用状況

(縦軸：当月貸出回数 横軸：月間)



3. 課題・今後の展開

(1) 鉄道駅周辺エリアへのポート・ラック増設

- 利用の多くは、鉄道駅周辺と遠隔地との移動である。
- 新たな目的地へ（出発地から）の需要に対応する受け皿とする。

(2) 鉄道駅遠隔地へのポート・ラック増設

- 鉄道駅から15～30分以内（5～7km程度まで）の公共交通が不便な地域で利用を拡大させる。

(3) 事業の安定性の確保

- 利用回数、利用者数をさらに増加させる。
- 1人あたりの利用回数を増加させる。（複数回利用してもらう。）

(4) 利用者への安全啓発

- 自転車事故の発生が多い時間帯（夕方）に多く利用されていることから、注意喚起が必要となる。
- ヘルメット着用が努力義務化されている。

鉄道駅周辺の自転車通行空間整備に関する 効果測定

1. 鉄道駅周辺の自転車走行空間整備計画について

通勤・通学などの鉄道利用

商業施設での買い物など

乗り物 + 徒歩

自転車を含む多くの交通と、多くの歩行者であふれている

駅周辺の交通の特徴を踏まえ、**歩行者との安全性により着目した**鉄道駅周辺の自転車ネットワーク路線を設定し整備を進める。
(藤沢駅・辻堂駅・湘南台駅・長後駅を対象とする。)

基本方針

1. 歩行者との安全性により着目した「**鉄道駅周辺の自転車ネットワーク路線**」を設定し、**安全で快適な歩行者空間及び自転車通行空間を確保**する。
2. 駅前広場などの市街地の中心部では、「**自転車の押し歩き**」を基本とし、より安全な歩行空間を確保する。

将来的な自転車ネットワーク路線

安全で快適に自転車が走行できる空間を確保するため、幹線道路を中心とした自転車ネットワーク。

鉄道駅周辺の自転車ネットワーク路線

鉄道駅周辺の自転車の利用実態を踏まえ、歩道がない狭い道路においても歩行者の安全に配慮した自転車ネットワーク。

2. 効果測定概要

目的

「鉄道駅周辺自転車走行空間整備計画」に基づき、藤沢駅周辺に設置した、路面標示等（自転車ピクトグラム【左側通行】や自転車押し歩きを促す案内）の整備効果を測定する。

自転車ピクトグラム【左側通行】
（駅周辺ネットワーク路線）



自転車押し歩きを促す案内
（駅中心部）



調査実施日

2023年11月14日（火） （朝）午前7～8時・（夕）午後5～6時

< 整備前現況調査実施日 >

2019年 10月3日（水）・10月17日（木）・11月21日（木）・11月26日（火）
（朝）7～8時・（夕）午後5～6時

2. 効果測定概要

調査項目

駅周辺ネットワーク路線

◆逆走割合

(交差点前後における右側走行の割合)



車道の左側ではなく、右側を走行している自転車交通量を計測し、全自転車交通量との割合を算出した。

◆歩道走行割合

(交差点前後における歩道走行の割合)



歩道において、押し歩きをせず、走行している自転車交通量を計測し、歩道の自転車交通量との割合を算出した。

駅中心部 (駅前広場やその周辺道路)

◆駅中心部走行割合

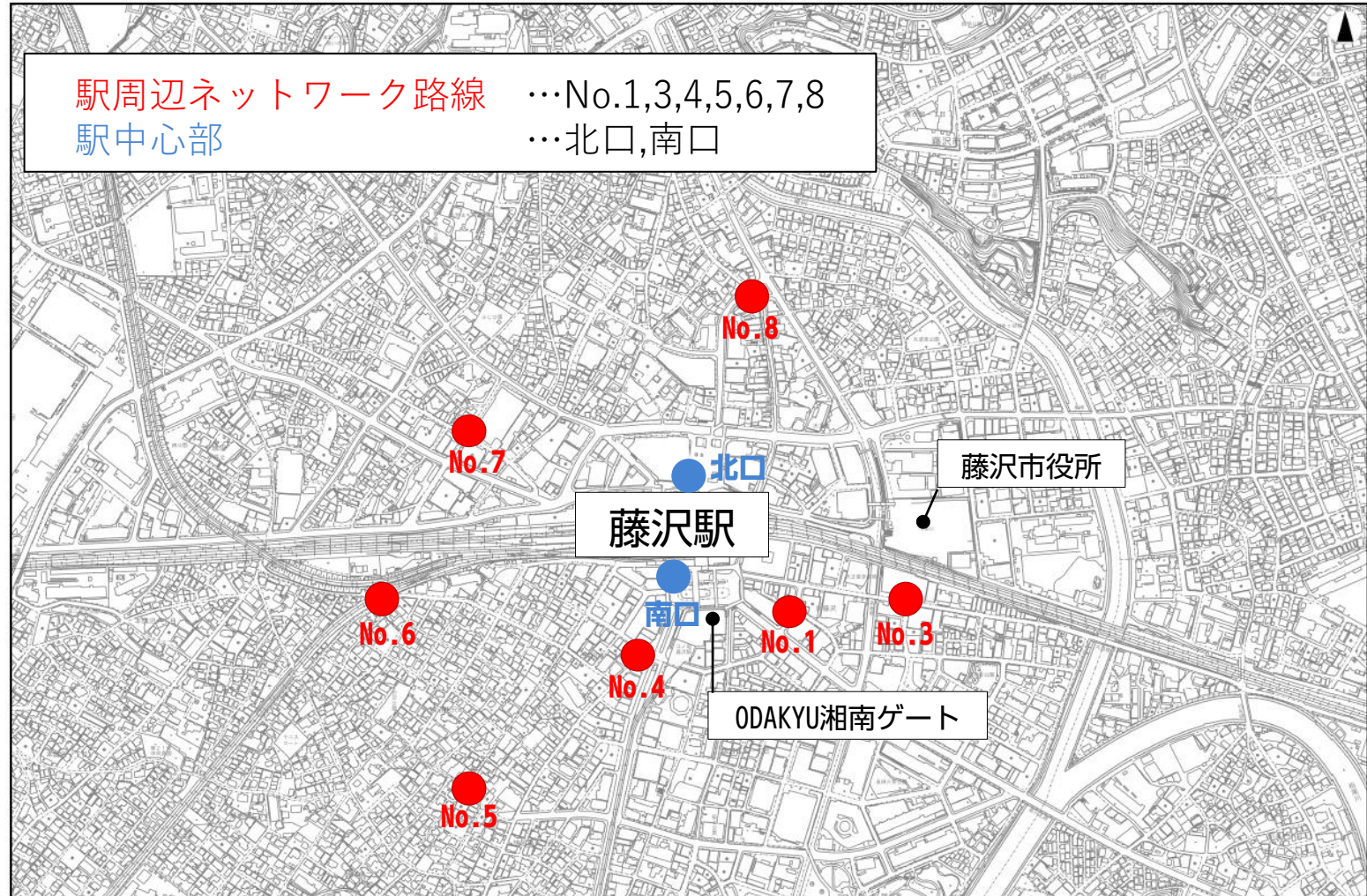
(駅中心部における走行の割合)



駅中心部において、押し歩きではなく、走行している自転車交通量を計測し、全自転車交通量との割合を算出した。

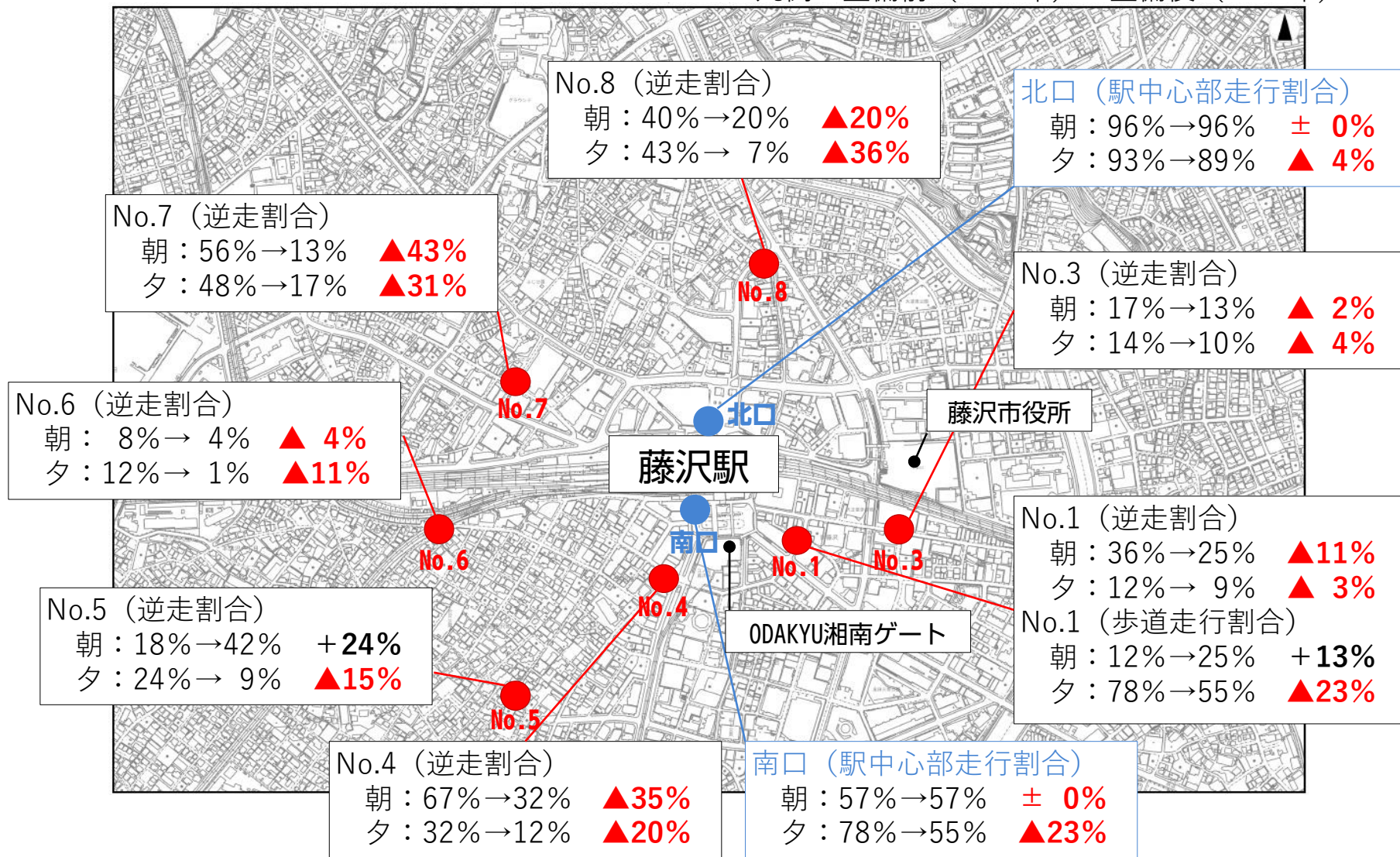
2. 効果測定概要

効果測定実施箇所



3. 測定結果

凡例：整備前（2019年）→整備後（2023年）



ピクトグラムなどの設置により、自転車利用者のマナーが向上したことで、逆走、歩道走行の割合が低下したと考えられる。

4. 今後について

藤沢駅周辺において、自転車通行空間整備の効果が見られたことから、引き続き、辻堂駅周辺においては整備を、湘南台駅・長後駅周辺においては、整備計画の策定及び整備を進める。

【実施スケジュール】

路線No	整備路線	整備形態等	第1期	第2期	第3期	第4期
16	藤沢駅周辺	車道混在・ 自転車ピクトグラム 【左側通行】	整備			
17	辻堂駅周辺	車道混在・ 自転車ピクトグラム 【左側通行】	整備計画	整備		
18	湘南台駅周辺	車道混在・ 自転車ピクトグラム 【左側通行】		整備計画	整備	
19	長後駅周辺	車道混在・ 自転車ピクトグラム 【左側通行】			整備計画	整備

実施スケジュール	時 期
第1期	2020年度（令和2年度）～2022年度（令和4年度）
第2期	2023年度（令和5年度）～2025年度（令和7年度）
第3期	2026年度（令和8年度）～2028年度（令和10年度）
第4期	2029年度（令和11年度）～2030年度（令和12年度）

（実施計画書より）